

第 4 号

きょうたんの 都市計画

平成18年 5月25日発行

編集発行：京丹後市 建設部

都市計画・建築住宅課

〒629-3101【網野庁舎】

京丹後市網野町網野 353 番地の 1

電 話 69-0530

FAX 72-5421

URL <http://www.city.kyotango.kyoto.jp>

京丹後市まちづくり計画（都市計画マスタープラン）

づくりに向けた

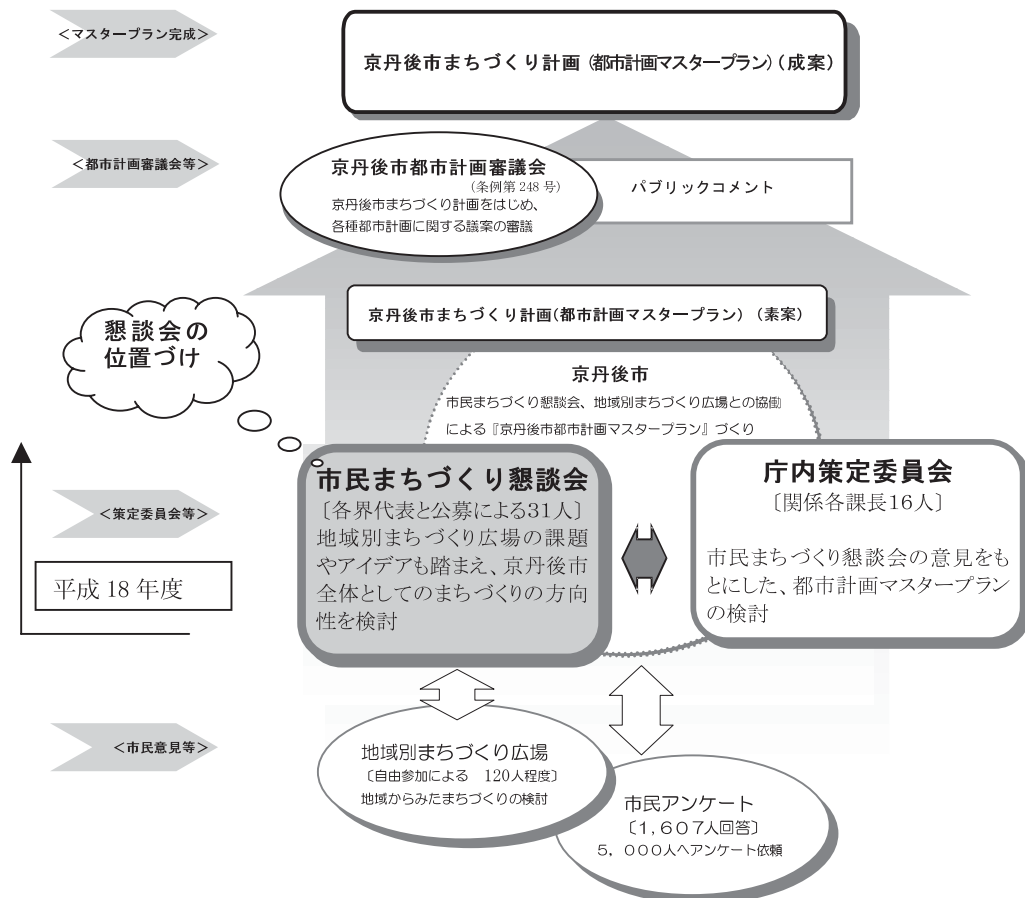
市民まちづくり懇談会

スタート!!

4 月 28 日開催

『京丹後市まちづくり計画（都市計画マスタープラン）』の策定に向け、4月28日に、第1回目の「市民まちづくり懇談会」を開催しました。

《京丹後市まちづくり計画の策定体制》



※ 当初、都市計画マスタープランでスタートしましたが、「まちづくり広場」で多くのかたから、“都市計画ではなじみがない”と
のご意見をいただき、『まちづくり計画（都市計画マスタープラン）』と名称を改めました。

「市民まちづくり懇談会」

H18.4.28

～第1回懇談会～

『京丹後市まちづくり計画(都市計画マスタープラン)』の策定に向け、4月28日に第1回目の「市民まちづくり懇談会」を開催しました。



～立命館大学教授 石原先生の基調講演～

京丹後市まちづくり計画(都市計画マスタープラン)の目的と、今後のスケジュールについて事務局から説明。

続いて立命館大学政策科学部 石原一彦教授から『まちづくりと都市計画とは？』のテーマで基調講演をいただきました。

その中で他の事例を交えて、市民の立場からこの京丹後市の将来について意見交換することの意義についてお話をいただきました。



～住みよいまちづくりとは？～

講演の後、多くの委員さんから「まちづくり」や「都市計画」についての質問や、これからの懇談会の進め方について積極的な意見をいただき、第1回目の懇談会を終了しました。

懇談会の委員さんには、今年度、数回の委員会をお世話になります。

10年後、20年後に「住みよいまちだな」と感じていただける「京丹後市」のための都市計画マスタープラン策定を心がけていきます。



京丹後市「市民まちづくり懇談会」は、次のように進めていきます。

【組織】～市民の視点で論議～

市民まちづくり懇談会は、『京丹後市まちづくり計画(都市計画マスタープラン)』策定のためのたたき台を市民のみなさんの視点からつくっていただくため、各市民局単位の自治区・各種団体から選任された12人、まちづくりについての作文公募から選考させていただいた6人、昨年開催しました「地域別まちづくり広場」参加者の内から女性を中心に6人、青年会議所・建築士会会員の若い方々から7人の合計31人のみなさんによる組織で、平成20年3月末までの2年間お世話になります。

【テーマ】～今後のまちづくりのあり方～

京丹後市のこれからのまちの方向性を検討していただくとともに、「都市計画区域のあり方」や「都市計画区域内外の関係性」をはじめ、これからの「具体的なまちづくり方策」について検討していただきます。

【主な課題】～まちづくりの方向と方策、市民協働～

- ① 各種現況データやアンケート結果、また昨年秋に実施しました「地域別まちづくり広場」で検討されたまちづくりについての提案などをもとに、京丹後市全体のまちづくりの方向性について考えていただく予定です。
- ② 都市計画区域のあり方や具体的なまちづくり方策についての検討をしていただく予定です。
- ③ これからのまちづくりにおいては、市民のみなさん・事業者・行政がともになってまちづくりに取り組んでいくことが不可欠となっており、『協働によるまちづくり』の方法についても議論を深めていただく予定です。

【内容公表】～検討状況は随時お知らせします～

この懇談会での検討状況については『きょうたんの都市計画』などの広報紙で、随時、お知らせしていく予定です。

【成案まで】～審議会、パブリックコメントを経て～

懇談会での検討結果は、庁内の策定委員会が行うまちづくり計画の検討の中で、具体的に生かされ、「都市計画審議会」での審議を経て、『京丹後市まちづくり計画(都市計画マスタープラン)【素案】』として、市民のみなさんにご覧いただく(パブリックコメントの実施)とともに、さらなる意見を加味して、「成案」としていきたいと考えています。

『地域別まちづくり広場』を開催しました

昨年、9月から10月にかけて、『地域別まちづくり広場』を市内6地区でそれぞれ2回ずつ開催し、延べ103人の参加をいただきました。広場で検討された内容については、それぞれの地域の市民局で公表しました。

ここで検討された内容は、『市民まちづくり懇談会』における基礎資料として活用し、京丹後市まちづくり計画(都市計画マスタープラン)へ反映していきます。



身近なまちなみの再発見(弥栄会場)

【参加者からの意見：弥栄】

“住んでいても行く機会がなかった場所、とても懐かしい場所など楽しく参加させていただきました。みなさんのお話を聞いていて弥栄のよさを再発見できて折角自分の住んでいる所なのだから、愛情をもっていい方向にいくよう協力したいと思いました。”

【参加者からの意見：大宮】

“短い時間でしたが、まちの声を取り入れるスタートとしていいプランだと思いました。”
“河辺にも村づくり委員会があるが、少し広い範囲の開発というか大宮の住みやすさが、また、観光開発事業が早く実現できたらよいと思う。”



参加者からのまちづくり提案(大宮会場)

【参加者からの意見：丹後】

“昔はよく歩いた道を歩いてみて「間人っておもしろいなあ」と思いました。これからどのように生かすか考えさせられました。”
“自分のまちなのに、新しい発見がありました。ゆっくり歩いてみることも楽しいですね。参加してよかったです。新しい何かが生まれそうな予感がします。”



参加者からのまちづくり提案(丹後会場)



身近なまちなみの再発見(久美浜会場)

【参加者からの意見：久美浜】

“まちづくりウォッチングにより、新しい発見を見い出せた。貴重な資源の保存、町のイメージアップを微力だが協力していきたい。”
“普段見慣れている景色でも、ゆっくり歩いて見ていると、もっとあぁして欲しい、こうだったらいいと思う思いが沸いてきます。ふる里久美浜を見直すよい機会だったと思います。”

【参加者からの意見：網野】

“自分の住んでいるまちのことを、いかに知らない部分が多いかがわかっただけでも意義がありました。これからは、まちのこと、住んでいる人たちのことをより勉強し、自慢できる網野にしていきたいと考えます。”
“網野のよさ(近くに色々を見るところがある点)を改めて発見できました。”



参加者からのまちづくり提案(網野会場)



身近なまちなみの再発見(峰山会場)

【参加者からの意見：峰山】

“色々な年代のかたの意見を聴かせていただきながら峰山のまちを歩くことができて良かったです。改めて峰山の文化を知ることができました。”
“今まで何となく見逃していた所、知っていたつものの所を再発見できました。また、ワークショップを通じみなさんの思いも知り町中文化の大切さなど考えさせられました。”

【全体の感想】参加者が、自分のまちに対してさまざまな思いを持ち、まちと一緒に創っていききたいという熱い気持ちがひしひしと感じられる提案が多くありました。

住民アンケートの結果について(その 2)

(都市計画広報紙第 3 号で報告させていただいたアンケート結果の「その 2」です)

前回に引き続き、アンケート調査の一部をご紹介します。

～大切にしたいものとして

「自然」「海」をあげるかたが多い～

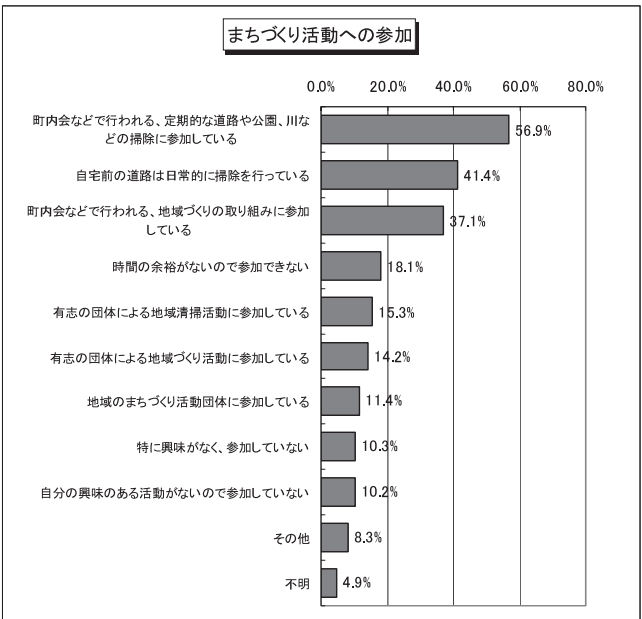
- ・ 市内で大切にしたい特徴についてみると、《丹後ちりめん》《琴引浜》《海》《自然資源》が多い。
- ・ また、「丹後ちりめん」や「海の幸」「丹後米」など、地域物産をあげるかたも多く見られる。

	合計	割合 (%)
丹後ちりめん	134	8.38%
琴引浜	128	8.01%
海	124	7.75%
自然資源	114	7.19%
久美浜湾(埋立地)	73	4.57%
温泉(施設)	68	4.25%
丹後松島	65	4.07%
海岸線	58	3.63%
海の幸	47	2.94%
経ヶ岬(灯台)	45	2.81%
丹後米	45	2.81%
内山ブナ林	36	2.25%
金刀比羅神社	34	2.13%
熊子山(古墳)	34	2.13%
竹野川	32	2.00%
カニ	32	2.00%
歴史資源	31	1.94%
北近畿タンゴ鉄道(駅舎)	31	1.94%
スイス村	29	1.81%
甲山公園(展望台)	29	1.81%

～町内会など「まちづくり活動」へは、6

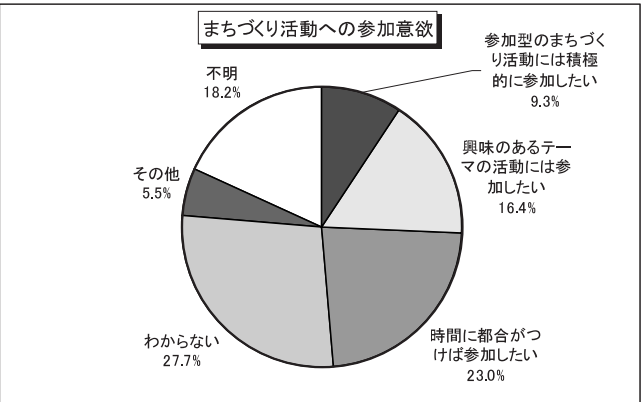
割のかたが参加。有志による取り組みへも 1 割以上のかたが参加している～

- ・ まちづくり活動への参加は、半数以上のかたが、《町内会などで行われる、定期的な道路や公園、川などの清掃に参加している》と答えている。
- ・ また、《町内会などで行われる、地域づくりの取り組みに参加している》と答えたかたが4割近くみられ、多くのかたが地域組織によるまちづくり活動へは参加している。
- ・ さらに、有志団体による清掃活動や、地域づくり活動に、15%ずつのかたが参加しており、主体的な活動がみられる。



～「まちづくり活動」への参加意欲は半数近くがあると回答～

- ・ まちづくり活動への参加意欲についてみると、《積極的に参加したい》と《興味のあるテーマに参加したい》《時間に都合がつけば参加したい》を合わせると、半数近くのかたがまちづくり活動への参加意欲を持っている。



「そもそも都市計画とはなにか？」などの素朴なご意見、ご質問に対して都市計画広報紙 2 号からシリーズで、お答えしています。

今回は 都市計画決定と手続きについて お答えします。

都市計画の決定はだれが行うのか？

- ① 広域的、根幹的なものは「都道府県」が決定します。
主なものとしては、「都市計画区域」の決定、「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の決定、「市街化区域、市街化調整区域」の決定などが都道府県の決定事項です。
- ② その他のものは「市町村」が決定することとなっています。
代表的なものとしては、「市町村マスタープラン」「用途地域」「地区計画」などがあります。

都市計画決定の手続きとは？

都市計画決定の手続きには、「都道府県が定める都市計画決定の手続き」と「市町村が定める都市計画決定の手続き」があり、その決定までの流れは次のとおりです。

(都道府県) 市町村の意見を聞きながら京都府の「案」を策定→案を縦覧→京都府の「都市計画審議会」に諮る→国土交通大臣の同意を得て決定となります。

(市町村) 説明会や公聴会により住民のみなさんの意見を反映しながら「案」を策定→案の縦覧→京丹後市の「都市計画審議会」に諮り、京都府知事の同意を得て決定となります。

まちづくり “ほっとニュース”

【私たちが、がんばっています】

＝地域のまちづくり団体の活動紹介コーナー＝

今回は、宇川温泉「よし野の里」入口道路沿いに、花の植栽・管理を続けておられる「久僧あゆみの会」をご紹介します。



花の手入れ中の会員のみなさん

「久僧あゆみの会」

代表: 吉井久子さん、会員: 13 人

主な活動: 宇川温泉「よし野の里」の完成をきっかけに平成 14 年 1 月 15 日に会を結成されました。

毎年 7 月末に葉牡丹の種蒔きをしてポットで芽吹いたものを、8 月末に近くの畑に植栽し、育ったものを 11 月下旬ごろ、「よし野の里」入口道路沿いの花壇に移植する活動を行っておられます。

花で彩られた沿道も、こうしたボランティアに支えられているんですね。これからもよろしくお願いします。

(「久僧あゆみの会」みなさんには、早い段階で取材させていただきながら、ご紹介が遅れましたことをお詫び申し上げます)。

あなたの近くで「まちづくり “ほっとニュース”」があればご紹介ください。

【都市計画で整備された施設紹介】その3

都市計画に位置付けて整備を行ってきた都市施設を順次紹介するコーナーです。

都市計画街路杉谷荒山線

峰山町杉谷の駅道(市道呉服^{サクラヅチ}内線)旧農協ストア横から小西川を渡り、市道立長御旅線・風呂川^{フログガウ}を経て峠越えし、峰山町荒山の峰山中学校グランド前、市道石ケ下岡ノ坊線交差点にいたる、延長約1kmの整備道路が、都市計画街路「杉谷荒山線」で、昭和35年8月28日建設省告示1719号により、峰山都市計画街路として計画決定を受けました。

峠を越えた少し先の峰山中学校寄りには、本紙第2号でご紹介した都市公園「峰山総合公園」の入口とも交差しています。

同街路の整備は、昭和48年から昭和62年までの15か年間に、事業費総額6億2千450万円をかけて行われました。

昭和48年から昭和53年までの6か年で、市道呉服内線から、小西川を渡り市道立長御旅線までの約200mを整備の後、引き続き峠越え区間の測量設計と用地買収に着手し、昭和56年から昭和62年までの7か年で、風呂川から峰山中学校までの同峠越え区間を整備完了しています。

また、この間の昭和55年から昭和57年には、開削区間から周濠の連続遺構が発見され、一時街路工事を中断して、「他に例のない第1級の遺跡」として扇谷古墳の発掘調査も行われました。

この道路の規格は、対向2車線9mに両歩道各1.5mの総幅員12mで、旧峰山市街地と府道バイパスを結ぶ主要な都市計画街路として利用されています。



事業概要

工事延長	981.0m
幅員	12.0m (車道 9.0m、歩道 1.5m 両側)
擁壁	延長 143m 高さ 2.0～11.5m
工期	着工 昭和48年10月19日 完成 昭和63年3月31日
総工費	6億2千450万円

編集後記

◆「まちづくり広場」では、延べ103人という多くのかたにご参加いただきありがとうございました。

これからともにまちづくりを進めていただける多くのかたとお知り合いになったことは、行政としても大きな財産を得られたと考えています。

この広場でのご意見、課題、作品は、「まちづくり懇談」に活かしながら、京丹後市全体の都市計画区域のあり方・計画区域内の各種整備の方向性を見出したいと考えます。

◆財団法人都市計画協会発行の「みんなで進めるまちづくりの話」というイラスト入りのリーフレットが手に入りました。

挿絵入りで、まちづくりについて説明されています。まちづくりや都市計画について勉強したいとご希望のかたは、都市計画・建築住宅課(TEL69-0530)までお申し出ください。